

国際交流・社会貢献の概要

1. 国際交流

<協定相手校>

カセサート大学（タイ）

- ・カセサート大学理学部と長浜バイオ大学バイオサイエンス学部との間における学術交流協定（2004.11.7）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学術交流協定（2013.1.28）
- ・長浜バイオ大学とカセサート大学との間における学生交換覚書（2013.1.28）
- ・長浜バイオ大学バイオサイエンス学部とカセサート大学工学部との間における学生インターンシップ覚書（2013.1.28）
- ・インターンシップ生4名派遣（2016.9）
- ・インターンシップ生1名派遣（2017.3~12）

東北大学（中国）

- ・長浜バイオ大学と東北大学との学術交流に関する協定（2008.4.12）
- ・東北大学中荷生物医学与信息工程学院・長浜バイオ大学 覚書（2008.6.13）
- ・長浜バイオ大学と東北大学間の「3+1型」学生交流協定（2011.8.29）

東北大学（中国）・滋賀医科大学

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010.8.8）
*この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

2. 大学間連携

<協定相手校>

滋賀医科大学大学院医学系研究科

- ・戦略的大学連携支援事業の共同実施に関する協定（2008.9.24）
→ 平成20年度文部科学省「戦略的大学間連携支援事業」採択
- ・滋賀医科大学と長浜バイオ大学との教育研究の連携協力に関する協定（2009.2.16）
- ・滋賀医科大学大学院医学系研究科と長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科との間における特別研究学生交流協定（2010.4.1）

- ・滋賀医科大学と長浜バイオ大学との教育研究協力に関する包括協定（2018.10.31）

滋賀医科大学・東北大学（中国）

- ・東北大学・長浜バイオ大学・滋賀医科大学三大学学術交流協定（2010.8.8）

＊この協定は、長浜バイオ大学のバイオテクノロジー・バイオインフォマティクス、東北大学のバイオ医学情報、滋賀医科大学の医学という三大学が特色とする専門分野を融合し、「バイオ医療学」という新しい学術研究と教育に資するために、締結したものである。

奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科

- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科とのバイオサイエンス分野における相互協力に関する包括協定（2010.9.1）
- ・長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科と奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科との間における「特別研究学生」の受入れに関する協定（2014.6.17）

北海道大学理学部

- ・公開臨海臨湖実習に関する協定（2011）

立命館大学

- ・立命館大学と長浜バイオ大学との教育研究連携に関する覚書（2007.2.1）

滋京奈地域産学協働連携協議会（2015.4.1）

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマA】
「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」（2012-2014）

滋京奈地域インターンシップ推進協議会

- ・産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
「滋京奈地域における産学連携インターンシップ等による人材育成」（2014-2015）

＊文部科学省の補助事業終了後の後継事業組織として、上記2協議会を発展的に統合し、以下の滋京奈地域人材育成協議会を発足。

- ・滋京奈地域人材育成協議会（2016-2021）

3. 高校大学間連携

<協定相手校>

近江兄弟社高等学校

- ・長浜バイオ大学と近江兄弟社高等学校との高大連携事業に関する協定（2010.12.14）

岐阜県立岐阜農林高等学校

- ・長浜バイオ大学と岐阜県立岐阜農林高等学校との高大連携事業に関する協定（2011.3.30）

滋賀県立虎姫高等学校

- ・滋賀県立虎姫高等学校と長浜バイオ大学の包括連携協力に関する協定（2021.6.17）

<連携講座の実績（リンク）>（過去3カ年）

2022年度 <https://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=37891>

2021年度 <https://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=34969>

2020年度 <https://www.nagahama-i-bio.ac.jp/?p=30475>

4. 企業との教育研究に関する連携

<協定相手企業>

タカラバイオ株式会社

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学とタカラバイオ株式会社との教育研究に関する協定
(2013.2.18)

長浜信用金庫

- ・学校法人関西文理総合学園長浜バイオ大学と長浜信用金庫との産学連携基本約定 (2006.10.4)

長浜商工会議所

- ・長浜商工会議所・長浜バイオ大学連携事業協定 (2010.2.1)

大垣共立銀行

- ・産学連携に関する協定 (2013.12.17)

滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアム (2017.4.12)

5. 産官学連携

本学は、教学目標のひとつとして「地域社会の発展や産業の振興」を掲げており、地域連携・産官学連携推進室では、地元自治体・産業界・NPO法人など、まちの人々との連携を強め、地域連携・産官学連携推進事業に取り組んでいます。産業界等からの技術・事業相談等の社会的要請に関して、地域連携・産官学連携推進室が窓口となり、本学教員とのマッチングを実施しています。また、本学に隣接する長浜インキュベーションセンターや滋賀バイオ産業推進機構、長浜アカデミックサポートチーム、地元金融機関、びわ湖東北部地域連携協議会との連携体制により、本学の教育研究成果を広く地域に告知し、地元企業との産官学連携、共同研究等を推進しています。

<実施内容>

部署の配置	2019年、地域連携・産官学連携推進室を設置し、産官学連携業務を担当しています。
本学における 研究内容の地域企業への情報発信	本学教員の研究内容を地域企業へ広く紹介し、社会実装に向けたような取り組みを実施しています。 1) 社会貢献を目指したパンフレットの作成(年1回)と配布

	2) パンフレット配布に連動させたシーズ発表会の実施 3) 長浜インキュベーションセンターや商工会議所が実施する企業向け説明会への参加
地域企業との共同事業および 地域自治体との連携関係の促進	研究推進機構事務室と連携し、企業から本学に相談される案件について適当な教員を紹介するシステムを構築し、相談案件が共同研究等に発展するように支援しています。 外部との連携として、本学に隣接する長浜インキュベーションセンターやびわ湖東北部地域連携協議会等の機関と産官学連携を推進しています。
ベンチャー育成・支援	隣接の長浜バイオインキュベーションセンターに入居のベンチャー企業や本学発ベンチャー等への支援活動を実施しています。

6. 地域社会貢献

【生涯教育事業への協力】

●長浜バイオ大学市民土曜講座

「長浜バイオ大学市民土曜講座」は、地域連携・産官学連携推進室およびびわ湖東北部地域連携協議会が主催し実施しています。2022年度は「魚類」をテーマに第一回、二回を実施、2022年度命洗祭同日開催で特別講座として蔡晃植教授の講座を開講しました。また、一人でも多くの方に講座を受講いただけるよう動画配信（オンデマンド）も行いました。

回	日時	テーマ	講師
1	9月17日(土)	メダカの多様性に学ぶ性別決定の仕組みと進化	竹花 佑介 准教授
2	10月15日(土)	第1部：カエル糊の話：「浮気」でバレた絆の秘密 第2部：姿はなくとも証拠は残る：環境DNA研究と絶滅危惧種の研究	倉林 敦 准教授
3	10月22日(土)	サイエンスイノベーションによって大きく発展する植物科学が地球を救う	蔡 晃植 教授

●市民教養講座

びわ湖東北部地域連携協議会が主催する市民教養講座や学んで活躍応援講座に講師として本学から教員を派遣し、生涯学習の振興に貢献しました。

	実施日	テーマ	講師
市民教養	10月16日(日)	細胞のエネルギーと新しい抗菌薬	岩本 昌子 准教授

講座	11月26(土)	創薬、医薬品が世に出るまで～研究と開発の流れ	堀部 智久 教授
学んで活躍 応援講座	12月4日(日)	全9回実施した講座の総まとめとして実施した参加者交流会 ※全体ファシリテーターとして	坂井 伸彰 教授

【理科教育への貢献】

●小学生及び保護者対象理科実験講座「夏休み! 親子科学教室」

8月11日～13日の間に全6回を実施(2年ぶりの対面実施)し、地域の児童への理科教育支援に貢献しました。参加者は193名で小学1～4年生が80%を占めています。

●滋賀県教育委員会「2022年度滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」

滋賀県教育委員会の依頼を受け、バイオサイエンス学部講座「意外に!?身近なバイオ～薬剤耐性菌から電子顕微鏡まで～」を企画し、2022年7月28日(木)に実施しました。

回	テーマ
1	薬剤耐性菌問題と河川中の抗菌薬の検出実験について
2	走査型電子顕微鏡で撮った画像をLINEスタンプにする

●『理系人材育成支援事業』「長浜学びの実験室」による小中学生対象の理科教育の充実

「長浜学びの実験室」での小・中学校生向けの理科実習教育は、本学教員と専任の実験指導者が長浜市と共同で行っています。2022年度は市内小・中学校の35校中32校から受講申し込みがあり、68回の科学実験実習を実施し、1,637名の児童・生徒が受講しました。

<主な内容>

- ・顕微鏡による生き物の発生やその変化の様子の観察
- ・軟体動物や魚類、両生類などの解剖及び顕微鏡による消化管等の観察
- ・植物と動物のDNA抽出実験
- ・遠心分離機による「溶ける」と「混ざる」の比較実験
- ・身の回りの様々な素材を使った指示薬づくりと身近な水溶液の仲間分け など

【地域連携プラットフォーム】

●びわ湖東北部地域における学術文化教育基盤形成を目的とした大学・短期大学・地域連携プラットフォーム事業

2018年9月に、SDGsを活用して豊かに働き生活できる彦根・長浜地域の創出を実現することを目標とする、彦根・長浜地域の滋賀大学・滋賀県立大学・滋賀文教短期大学・聖泉大学・長浜バイオ大学・滋賀県・彦根市・彦根商工会議所・長浜市・長浜商工会議所の10機関による彦根長浜地域連携協議会（以下、「協議会」）が組織されました。そして協議会の事業実施に向け、文部科学省2018年度私立大学等改革総合支援事業・タイプ5に申請を行い採択されました。2020年度には、事業開始当初から地域内の就職活動および採用支援活動を中心にご支援をいただいていた米原市が、協議会に加盟することになり、職・住・学・近・接を生かした、地域にお住いの皆様が日常的に行き来しているびわ湖東北部の3市（彦根市・米原市・長浜市）を、プラットフォームの中核活動地域として発展的に拡大することができました。

この取り組みでは、本学が幹事校となり、地域の発展に向けて、先の11機関が持続可能な開発目標であるSDGsを活用し、力を合わせてそれぞれの得意分野で協働し、その成果として有能な人材を養成し、地域で活躍してもらうことで豊かに働き生活できる、魅力と活気ある地域社会を創出することに貢献しています。これまで計画した各事業を遅滞なく実行したことから効果的な取り組みが評価され、引き続き2022年度も私立大学等改革総合支援事業タイプ3（プラットフォーム型）に採択されました。

【情報発信】

●地域連携・産官学連携推進室の活動を学内外へ情報発信

本学教職員や学生が取り組む地域連携・社会貢献の活動について情報を集約し、本学ホームページや彦根長浜地域連携協議会ホームページ、学園通信「めいこう」のほか、地元メディアでも情報を広く発信しました。